

\*\*\*\*\* こども安全対策ニュース\*\*\*\*\*

## 1. 体育祭の練習で男子生徒が熱中症に 京都府宮津市、近隣2町は休校 保護者は疑問

2025/09/10 京都新聞

熱中症の危険が高まったとして京都府内で初めて与謝野、伊根町の小中学校が休校した2日、通常通り登校した宮津市の中学校で、体育祭の練習をした3年の男子生徒が熱中症の診断を受けていたことが分かった。3市町は同じ「暑さ指数」の予測値を基に休校か否かを判断しており、異なる対応に保護者から疑問の声が上がっている。

国の熱中症警戒アラートが府内に発令された2日、気温や湿度などで算出する暑さ指数が宮津市の観測点で「35」になる予測が同午前5時に発表された。

## 2. 新型コロナ患者数が京都府で10週連続増加 基本の感染対策を

2025年8月28日 NHK

京都府によりますと府内では、新型コロナウイルスの1医療機関あたりの患者数が10週連続で増加していて、府は手洗いやマスク、それに換気など基本的な感染対策を呼びかけています。

新型コロナウイルスの患者数は全国的に増加が続いています。

京都府によりますと府内では今月(8月)24日までの1週間に府内66の医療機関から報告された新型コロナの患者数は1医療機関あたり9.8人と、10週連続で増え、ことし(2025年)に入ってから最も多くなっています。

地域別では▼中丹西で18.67人と最も多く、次いで▼丹後で17.67人、▼中丹東で17.33人など、特に北部で多く報告されています。

また、国立健康危機管理研究機構によりますと、先月(7月)の全国の検体を分析したところ、新型コロナの変異ウイルスのうちオミクロン株の一種「NB.1.8.1」とその系統が全体の8割以上を占めたということです。

府は、「手洗いやマスクの着用などのせきエチケット、換気などが感染症の予防に有効だ。暑さ対策とバランスを取りながら、基本的な感染対策をお願いしたい」と呼びかけています。

### 新型コロナ流行 “症状軽くても検査受けて” 京都市の医師

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、京都市内のクリニックの院長は「症状が軽くても検査を受けてコロナかどうか見極めることが大事だ」と訴えています。

京都市北区のクリニックでは先月(7月)から新型コロナウイルスの患者が増え始め、お盆の時期のあとはほとんど毎日、新型コロナの陽性と診断される患者が出ているという



ことです。

患者の中には、鋭いのどの痛みを訴える人もいますが、軽いのどの痛みやせきなどの症状にとどまる患者も少なくないということです。

福山正紀 院長は「変異ウイルスの特徴と言われる“刺すようなのどの痛み”がなく軽い夏かぜのような症状でもコロナではないと思い込まず、検査を受けて見極めることが非常に大事だ」と話していました。

また、多くの学校で夏休みが終わり新学期の時期になっていることから、「子どもどうしの接触が増えたり移動が増えたりすることがさらなる流行を引き起こす可能性がある」としたうえで、「重い症状ではなくてもかぜの症状があればマスクをするなど人にうつさないように心がけてほしい。新型コロナウイルスが流行していることをしっかり認識し、かからない、うつさないという心構えを持ってほしい」と訴えていました。

### 3. コロナ禍以降、人工呼吸実施率が低下→救えるはずの命が失われていた可能性 岡山大が17歳以下の心停止事例3352件分析

2025年8月24日 山陽新聞

新型コロナウイルス禍以降、食事による窒息や水に溺れるなどで心停止した子どもに感染対策のため人工呼吸が控えられたことで、救えるはずの命が失われていた可能性があることを岡山大の小原隆史講師（小児救急・集中治療）らの研究グループが明らかにした。全国で起こった小児の心停止事例の分析で、人工呼吸の実施率が低下していた。胸骨圧迫（心臓マッサージ）だけの蘇生法の死亡リスクが高いことも分かり、小原講師は「小児への人工呼吸の重要性が改めて示された」と話している。

消防庁のデータで、2017～21年に病院外で発生した17歳以下の心停止7162件のうち、目撃者が心肺蘇生した3352件を分析した。コロナ禍前の17～19年は心臓マッサージに加えて30%以上で人工呼吸が行われたが、20年は26・2%、21年は16・9%に減った。追加調査では22～23年も人工呼吸が15%程度にとどまっていた。

蘇生の実施から30日後の生存を調べると、心臓マッサージのみの場合は、人工呼吸を加えたケースと比較して死亡リスクが1・16倍に上昇。人工呼吸の実施低下と死亡リスクを踏まえると、20～21年で年10・7人の救えたはずの命が失われていたと推計された。

### 4. 東京昭島 保育施設のアルバイト逮捕 女児にわいせつ行為か

2025年9月7日 14時17分 NHK

東京 昭島市内の保育施設で5日、通っている女児にわいせつな行為をした疑いで、この施設で働く23歳のアルバイトが逮捕されました。

逮捕されたのは、東京 昭島市の保育施設でアルバイトとして働く越沼慎生容疑者です。

警視庁によりますと、5日の午後、勤務先の保育施設で、ここに通っている未就学の女児にわいせつな行為をしたとして、不同意わいせつの疑いが持たれています。

女児の関係者からの110番通報を受けて警視庁が捜査し、6日に逮捕しました。

調べに対して、「私がわいせつ行為をしたことは間違いありません」と供述して、容疑を認めているということです。警視庁が詳しいいきさつを調べています。

## 5. 自転車の後ろに座る子ども“大けが、に注意 5年で事故200件超、太ももの骨折も…親にできること

9/10(水)朝日新聞 withnews

「自転車の後部座席の子どもが障害物（車どめやポール）と接触・衝突し、太ももの骨が折れる事故が増えています！」。8月中旬、日本小児救急医学会のXアカウントが注意を呼びかけました。保育園や習い事への送り迎え、遊びに行くときの交通手段として欠かせない子乗せ自転車。どんなことに気を付けなければいけないのか、医師に取材しました。



### 後部座席の事故、5年間で207件

「太ももの骨（大腿骨）は体の中でも一番大きな骨で、大きな力を加えない限り簡単には折れません。骨折した場合、元の生活ができるまで半年かかることもあります」

東京都立小児総合医療センター救命救急科の医師で、日本小児救急医学会のSNSを担当する岸部峻さんはそう話します。

「多いのは車どめや自転車が入りにくいポールの隙間を自転車が通ろうとして、子どもの足が引っかかってしまうケースです。看板の支柱や電柱でも起きています」

後部座席に子どもが座っている状態で、すねの辺りがポールなどの障害物に引っかかって進んでしまうと、大腿骨に力がかかり折れてしまうと考えられるそうです。

医療機関を受診した事故の情報を収集する「医療機関ネットワーク」には、自転車後部に子どもを乗せて走っていた際の事故情報が2019年度以降の5年間で、207件寄せられています。

事故の原因は、子どもの足が車輪に巻き込まれる事例が78件(38%)、転倒が63件(30%)、子どもが体を自転車の外に出してしまう「はみ出し」が37件（18%）、車両との接触が27件（13%）でした。

けがの内容では、「はみ出し」の約半数が骨折していて、ほかの事故よりも重篤なけがを負う危険性が高くなっています。

「はみ出し」によるけがの部位は、「大腿・下腿」が22件（60%）を占め、「頭部」が9件（24%）と続きました。

### 足をぶらぶらさせていて

国民生活センターによると、子どものはみ出しによる事故では次のような事例があったそうです。

「保護者の運転する電動アシスト自転車後部の幼児用座席に乗っていた。右側に寄ったところ、子どもの右足とガードレールが接触して受傷した。足を置くところから足を出してぶらぶらさせていたところを後ろから兄が目撃していた。右大腿骨遠位部骨折。約3週間入院」（2023年11月、4歳女兒）

「保護者の運転する電動アシスト自転車後部の幼児用座席に乗っていた。右折する際に車体がふらついてポールに子どもの右膝が接触し、股関節を開く形で受傷した。右大腿骨骨幹部骨折。約2カ月間入院」（2023年2月、6歳男児）

国民生活センターが2023年12月～2024年3月に再現テストをしたところ、後部座席に乗った子どもは、運転する大人の体に遮られて前にある障害物が見えにくいことが分かりました。

### 降りるか、ゆっくり通過する

製品安全協会が定める「自転車用幼児座席のSG基準（CPSA0070）」によると、自転車の前部に取り付ける座席は「1歳以上4歳未満」「目安身長100cm以下」。後部に取り付ける座席は「1歳以上小学校就学の始期に達するまで」「目安身長120cm以下」とされています。

しかし、メーカーによって、後部座席は2歳からの使用を推奨したり、前後に2人子どもを乗せる場合は合計30kgまでといった基準を設けたりしているため、安全のために確認が必要です。

東京都立小児総合医療センターの岸部さんは、「最低限のこととして、後部座席に乗れる子どもの基準は守りましょう。小学生の体格では足がはみ出てしまうこともあります」と指摘します。

「足はフットレストにしっかり置き、外にはみ出さないようにする」が基本ですが、子どもに注意してもなかなか行動を制限することは難しい現実もあります。

保護者へ向けては「狭い場所を通らなくてもいいよう別の道にしたり、通る場合は降りるかゆっくり通過したりしていただくと事故のリスクを減らすことができます」と呼びかけています。

## 6. 福岡 田川市 私立保育所で不適切な保育 保育士を懲戒解雇

8月21日福岡 NEWS WEB

田川市の私立保育所で、保育士が児童をたたくなどの不適切な保育を行ったとして、懲戒解雇の処分になりました。

これは21日、田川市が会見を開き明らかにしました。

それによりますと、今月4日の午後0時50分ごろ、市内の私立保育所で、給食の時間が終わった後に残って食べていた児童が立ち上がった際に、担任の20代の女性保育士が、大声で「まだ口の中に残っているじゃないか」などと言って、ほおや頭を合わせて4回たたく不適切な行為をしたということです。

児童にけがはありませんでした。

別の部屋で休憩中に防犯カメラの映像を見ていた施設長がこの保育士が児童をたたくような様子を目撃したことから発覚し、市に報告したということです。

保育所の聞き取りに対し保育士は「いらついて手を出してしまった」と話していて、この保育士を今月6日付けで懲戒解雇の処分としたということです。

現在、市や県が特別監査を行っていて、来月末をめどに結果を取りまとめた上で、保育所に対しては再発防止策などの提出を求めるということです。

田川市の村上卓哉市長は会見で「心配やご迷惑かけたことをおわび申し上げます」と陳謝しました。

## 7. 千葉の幼稚園バス事故、死亡の運転手は代理 園児 6 人が軽傷

9 月 29 日毎日新聞



フロント部分が潰れた幼稚園バス  
運転手が死亡

29 日午前 8 時 50 分ごろ、千葉県鎌ケ谷市南鎌ケ谷 2 で「バスが向かいの民家に突っ込んでしまった」と 119 番があった。幼稚園の送迎バスが住宅のフェンスに突っ込み、送迎車を運転していた船橋市日の出 1 の会社員、宮下潤一さん（49）が搬送先の病院で死亡。3～5 歳の園児 9 人のうち 6 人が打撲や鼻血などの軽傷を負い、職員 1 人にけがはなかった。

鎌ケ谷署によると、事故を起こしたのは「鎌ケ谷さくら幼稚園」（鎌ケ谷市）の送迎車。片側 1 車線の市道を進行していたところ、センターラインを越えて対向車線側にある住宅のフェンスにぶつかったとみられる。

鎌ケ谷さくら幼稚園によると、送迎車の運転は外部の会社に業務委託しており、宮下さんは普段送迎を担当する運転手の代理だったという。

現場の向かいで豆腐店を営む 70 代女性は事故当時、店内にいたところ「ガチャーン」という大きな音を聞いた。慌てて外に出ると、送迎車の中でシートにもたれてぐったりとした運転手を見つけ、救急車を呼んだ。「車内ではびっくりして泣いている子もいたけど、大騒ぎはしていなかった」と説明した。

事故現場を目撃した 50 代歯科医師は「子どもたちは動揺して声が出ない感じだった。運転手がどうなったのか心配したが、亡くなったと聞いて言葉がない」と声を落とした。



幼稚園の送迎バスがぶつかった住宅のフェンスなど＝千葉県鎌ケ谷市南鎌ケ谷 2 で 2025 年 9 月 29 日